

大学番号：私374

注3

[平成22年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

届出

皇學館大学 現代日本社会学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 皇學館  
平成23年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局学生支援部

職名・氏名 教務担当課長 ヤマムラモヒコ 山村智彦

電話番号 0596-22-6315

（夜間） 090-2680-0068

F A X 0596-27-1704

e-mail kyomu@kogakkan-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 皇 學 館

## (2) 大学名

皇 學 館 大 学

## (3) 大学の位置

〒516-8555  
三重県伊勢市神田久志本町1704番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	( サコ カズキヨ ) 佐 古 一 洌 (平成20年8月)		
学 長	( バン イソシロウ ) 伴 五 十 嗣 郎 (平成15年4月)	( シミズ キヨシ ) 清 水 潔 (平成23年4月)	任期満了により改選 平成23年4月1日 (23)
学 部 長	( ミヤカワ ヤスオ ) 宮 川 泰 夫 (平成22年4月)		
学 科 長 等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代日本社会学部 現代日本社会学科  学士(現代日本社会学)	4年	100人	— 年次人	400人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	100 (—) [—]	—	100 (—) [—]	—	—	—	—	—	—	—	1.12倍	
志願者数	204 (—) [—]	— (—) [—]	263 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	203 (—) [—]	— (—) [—]	259 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	194 (—) [—]	— (—) [—]	227 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	97 (—) [—]	— (—) [—]	128 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	0.97		1.28									

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 97	[ - ] -	[ - ] 128	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 96	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/				[ ]	[ ]			
計			[ - ] 97	[ - ] -	[ - ] 224	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]

(注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	1.0 %
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 97人	
	(主な退学理由) ・除籍 1人		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度の前年度までの確定した入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<現代日本社会学部 現代日本社会学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目 (全学共通)	皇学	皇学	1前	2			1					
		伊勢学	1後	2								
	総合基礎	初学び(入門演習)	1前集		1							文学部・教育学部用
		キャンパス・セミナー	1前	2			4 ↓	2 ↓				現代日本社会学部用 教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 新田 均(教授) 筒井琢磨(教授) 山路克文(教授) 岩崎正弥(准教授) ※昨年度記載漏れ
		文章入門	1前	2			1	1				教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 岩崎正弥(准教授)
		文章応用	1後		2		1					現代日本社会学部用
		古文Ⅰ	1前		1		1					教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 橋本雅之(教授)
		古文Ⅱ	1後		1		1					教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 橋本雅之(教授)
		漢文Ⅰ	1前		1							
		漢文Ⅱ	1後		1							
		総合演習	2前・後		2		1	1				
		情報処理Ⅰ(基礎)	1前		1							
		情報処理Ⅱ(応用)	1後		1							
		情報処理Ⅲ(ネットワーク)	2前		1							
		情報処理Ⅳ(プロگرامミング)	2後		1							
	外国語	英語基礎Ⅰ	1前		1							
		英語基礎Ⅱ	1後		1							
		英語コミュニケーションⅠ	1前		1							
		英語コミュニケーションⅡ	1後		1							
		英語総合Ⅰ	2前		1							
		英語総合Ⅱ	2後		1							
		英語資格対策Ⅰ	2前		1							
		英語資格対策Ⅱ	2後		1							
		英会話Ⅰ	2前		1							
		英会話Ⅱ	2後		1							
		英語資格A	1後		2							
		英語資格B	1後		2							
英語資格C		1後		2								
ドイツ語Ⅰ		1前		1								
ドイツ語Ⅱ		1後		1								
ドイツ語Ⅲ		1前		1								
ドイツ語Ⅳ		1後		1								
フランス語Ⅰ		1前		1								
フランス語Ⅱ		1後		1								
フランス語Ⅲ		1前		1								
フランス語Ⅳ		1後		1								
ポルトガル語Ⅰ		1前		1								
ポルトガル語Ⅱ	1後		1									
ポルトガル語Ⅲ	1前		1									
ポルトガル語Ⅳ	1後		1									
中国語Ⅰ	1前		1									
中国語Ⅱ	1後		1									







専門科目	精神保健福祉援助技術総論	2前	4		1					
	社会福祉援助技術論Ⅲ(実践)	2後	4		1					
	障害者福祉論	2後	2		1					
	公的扶助論	2後	2							
	社会福祉発達史	2後	2							
	高齢者福祉サービス論	2後	2		1	1			移籍前の学部にて輪沼憲晴准教授が教授に昇格(22)	
	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ(援助活動)	2後	2			1				
	リハビリテーション論	2後	2							
	精神保健福祉論Ⅱ(施策と業務)	2後	2			1				
	<b>発達と老化</b>	<b>2後</b>	<b>2</b>			<b>1</b>			教育職員免許法施行規則改正の理由により科目を追加(23) 担当 建部久美子(准教授)	
	医療福祉論	3前	2							
	精神保健福祉論Ⅲ(制度とサービス)	3前	2			1				
	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ(ケアマネジメント)	3前	2			1				
	精神科リハビリテーション論	3前	2							
	神道福祉論	4前	2			1	1		移籍前の学部にて板井正斉講師が准教授に昇格(22)	
	発展科目	日本経済論	2前	2						
		日本政治論	2前	2		1	1			山中優准教授が教授に昇格(23)
		経済政策論	2後	2						
		日本マスコミ論	2後	2						
		<b>産業観光論</b>	<b>2後</b>	<b>2</b>						教育課程充実の理由により科目を追加(23) 担当 兼任講師
		日本外交論	3前	2						
		農業政策論	3前	2						
		近代神道論	3前	2		1				
		公共政策論	3前	2						
		地方自治論	3前	2		1				
		コミュニティビジネス論	3前	2						
		起業論	3前	2						
		地方財政論	3後	2						
		政教問題論	3後	2		1				
		国際政治論	3後	2						
サブカルチャー論		3後	2		1					
文化政策論		3後	2			1				
実習科目		雇用政策	2後	1		1	1			笠原正嗣准教授が教授に昇格(23)
	スクールソーシャルワーク論	3後	2							
	権利擁護と成年後見制度	3後	2		1				担当者を専任に変更(23) 担当 輪沼憲晴(教授)	
	福祉行財政と福祉計画	4前	2							
	社会福祉経営論	4前	2		1					
	司法福祉論	4前	1			1				
	文化継承実習Ⅰ	2前	1							
	産業社会実習	2通	4		2	1			教授欄の記載漏れを修正(23) 科目充実のため担当者を追加(23) 担当 岩崎正彌(准教授)	
	文化継承実習Ⅱ	2後	1							
	文化継承実習Ⅲ	3前	1							
社会調査実習	3通	2			2			准教授欄の記載漏れを修正(23)		
社会福祉援助技術現場実習	3通	4		1	2 3			移籍前の学部にて輪沼憲晴准教授が教授に昇格(22)		
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ(事前指導)	3通	2		1	2 3			移籍前の学部にて輪沼憲晴准教授が教授に昇格(22)		
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ(事後指導)	3通	1		1	2 3			移籍前の学部にて輪沼憲晴准教授が教授に昇格(22)		
精神保健福祉援助実習	3通	6			1					
社会臨床実習	3通	2		1						
社会情報実習	3通	2			1					

	文化継承実習Ⅳ	3後		1							
	文化継承実習Ⅴ	4前		1							
	スクールソーシャルワーク実習	4前		2							
	文化継承実習Ⅵ	4後		1							
演習科目	現代日本演習Ⅰ	2通	4			8 <del>4</del>	2 <del>3</del>				山中優准教授が教授に昇格(23) 科目充実のため担当者を追加(23) 担当 笠原正嗣(教授) 守本友美(教授) 山路克文(教授)
	社会福祉援助技術演習Ⅰ(コミュニケーションスキル)	2後		2		3 2	1				移籍前の学部にて輪沼憲晴准教授が教授に昇格(22)
	社会福祉援助技術演習Ⅱ(相談援助のプロセス)	3前		2		3 2	1				移籍前の学部にて輪沼憲晴准教授が教授に昇格(22)
	精神保健福祉援助演習	3前		2			1				
	現代日本演習Ⅱ	3通	4			8 <del>4</del>	6 <del>3</del>				山中優准教授が教授に昇格(23) 科目充実のため担当者を追加(23) 担当 輪沼憲晴(教授) 笠原正嗣(教授) 守本友美(教授) 板井正斉(准教授) 建部久美子(准教授) 野尻京子(准教授) 藤井森子(准教授)
	社会福祉援助技術演習Ⅲ(相談援助の実際)	3後		1		3 2	1				移籍前の学部にて輪沼憲晴准教授が教授に昇格(22)
	スクールソーシャルワーク演習	4前		2							
課題研究演習(卒業研究)	4通	4			9 <del>7</del> 6	7 <del>9</del> 10 9	1			移籍前の学部にて輪沼憲晴准教授が教授に、板井正斉講師が准教授に昇格(22) ※22年度報告の記載もれ及び教授欄・准教授欄の記載間違いを修正(23) 笠原正嗣准教授及び山中優准教授が教授に昇格(23)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	教育課程充実及び教育職員免許法施行規則改正に伴う科目追加
10	201	0	211	10 [ 0 ]	203 [ 2 ]	0 [ 0 ]	213 [ 2 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	ボランティアⅡ	1	2後	一般	選択	平成22年度から開講予定の認定科目であったが、内容の再検討が必要となり、平成23年度においても未開講とし、代替措置を検討中。
2	伝統の心と技10	2	1後	一般	選択	科目にて参加を義務付けていた行事が平成23年度は開催されなくなったため、代替措置を検討中。

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】          「ボランティアⅡ」及び「伝統の心と技10」の未開講について、他に十分な選択科目を開講していることや、既に学生の理解を得ていることから、学生への影響はないと考えている。          【学生への周知方法】          履修要項に不開講を明記するとともに、履修指導時にも事情を説明し、学生からの理解を得ている。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	伊勢キャンパス (78,052㎡) 名張キャンパス (45,018㎡) 平成23年3月31日をもって名張キャンパス校地を名張市に返還し、伊勢キャンパスへ統合 キャンパス統合により名張キャンパスを閉鎖 (23)			
	校舎敷地	59,059 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	59,059 ㎡				
	運動場用地	15,013 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	15,013 ㎡				
	小 計	74,072 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	74,072 ㎡				
	そ の 他	3,980 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,980 ㎡				
合 計	78,052 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	78,052 ㎡					
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	伊勢キャンパス開設時 (23,006㎡) 完成年度新1号館を含む 32,495 (31,071㎡) 新1号館建設計画の一部変更 (23) 名張キャンパス (11,430㎡) 平成23年3月31日をもって名張キャンパス校舎を名張市に返還し、伊勢キャンパスへ統合				
	31,495 ㎡ 31,071 ㎡ ( 34,436 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	31,495 ㎡ 31,071 ㎡ ( 34,436 ㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 キャンパス統合による変更 (23)			
	31室 40室	24室 33室	32室 49室	3室 (補助職員 人)	1室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	現代日本社会学部 現代日本社会学科			17 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 図書—冊 -373,039 [29,951] -339,570 [28,831] 学術雑誌—種 -5,032 [ -93] -5,032 [ -93] 視聴覚資料—点 -2,748 -(2,508) 名張キャンパスを名張市に返還し、伊勢学舎へ統合のため (23)	
		現代日本社会学部 現代日本社会学科	76,198 [9,745] (326,181 [28,198]) -71,805 [-9,023] -71,023 [-9,145]	737 [ 54] (5,916 [146]) -(737 [-54])	0 [ 0] ( 0 [ 0])	1,361 (4,427) -(1,308) -(1,161)	0 ( 0)		0 ( 0)
	計	76,198 [9,745] (326,181 [28,198]) -71,805 [-9,023] -71,023 [-9,145]	737 [ 54] (5,916 [146]) -(737 [-54])	0 [ 0] ( 0 [ 0])	1,361 (4,427) -(1,308) -(1,161)	0 ( 0)	0 ( 0)		
	計	76,198 [9,745] (326,181 [28,198]) -71,805 [-9,023] -71,023 [-9,145]	737 [ 54] (5,916 [146]) -(737 [-54])	0 [ 0] ( 0 [ 0])	1,361 (4,427) -(1,308) -(1,161)	0 ( 0)	0 ( 0)		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数				伊勢図書館 (4,058㎡) 体育館 (5,361㎡) 名張図書館 (1,675㎡) 体育館 (1,331㎡) 平成23年3月31日をもって名張キャンパス校舎を名張市に返還し、伊勢キャンパスへ統合 キャンパス統合により名張キャンパスを閉鎖 (23)		
	4,058 ㎡	313	545,000冊						
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	5,361 ㎡	弓道場 198 ㎡	武道場 210 ㎡						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 経費の見積りについては、決算額が確定したため (22) 開設年度の決算額が確定したため (23)
		教員1人当り研究費等	440千円	440千円	図書購入費	2,125千円 2,566千円	3,409千円 2,100千円 2,566千円	8,000千円 10,645千円	
	共同研究費等	98千円 156千円	720千円 645千円	設備購入費	2,520千円 855千円	1,477千円 7,277千円 855千円	4,800千円 3,548千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,025千円	1,025千円	1,025千円	1,025千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等の経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている  
いる場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の  
項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

## 4 既設大学等の状況

大学の名称	皇 學 館 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部								三重県伊勢市神田 久志本町1704番地	
神道学科	4	70	—	280	学士 (文学)	1.17	昭和52年度		
国文学科	4	80	—	320	学士 (文学)	1.33	昭和37年度		
国史学科	4	80	—	320	学士 (文学)	1.20	昭和37年度		
コミュニケーション学科	4	80	—	320	学士 (文学)	0.99	平成12年度		
社会福祉学部								三重県名張市春日 丘7番町1番地	平成22年より学生 募集停止
社会福祉学科	4	—	—	—	学士 (社会福祉 学)	—	平成10年度		
教育学部								三重県伊勢市神田 久志本町1704番地	平成22年より(12) 定員増 社会福祉学部から 定員振替
教育学科	4	210	—	788	学士 (教育学)	1.24	平成20年度		
現代日本社会学部								三重県伊勢市神田 久志本町1704番地	平成22年4月より 社会福祉学部を改 組
現代日本社会学科	4	100	—	400	学士 (現代日本 社会学)	1.12	平成22年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<現代日本社会学部 現代日本社会学科>

### (1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮川 泰夫 ( )	平成22年4月	現代日本総論 国土構造論 地域構造論 国土計画論 地域計画論 産業革新論 文明開化論						
専	教授	橋本 雅之 ( )	平成22年4月	皇学 キャンパス・セミナー 文章入門 文章応用 現代日本総論 日本文化論 日本文学論 日本神話論 サブカルチャー論 現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ 課題研究演習(卒業研究)					古文Ⅰ 古文Ⅱ	平成22年4月から、科目充実のため「古文」をセメスター分割し、担当者を追加(22)
専	教授	新田 均 ( )	平成22年4月	総合演習 現代日本総論 日本人物論 日本国家論 現代人権論 近代神道論 現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ 課題研究演習(卒業研究)					キャンパス・セミナー	平成22年度から科目充実のため担当者を追加(23) ※昨年度記載漏れ
専	教授	富永 健 ( )	平成23年4月	法学(日本国憲法) 現代憲法論 地方自治論 政教問題論 司法福祉論 現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ 課題研究演習(卒業研究)						
専	教授	筒井 琢磨 ( )	平成22年4月	現代日本総論 社会情報学 社会調査法 質的調査論 医療社会学 産業社会実習 社会臨床実習 現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ 課題研究演習(卒業研究)					キャンパス・セミナー	平成22年度から科目充実のため担当者を追加(23) ※昨年度記載漏れ

専	教授	山路 克文 ( )	平成22年4月	現代日本総論 日本人物論 社会福祉原論 福祉政策論 社会福祉経営論 社会福祉援助技術 演習Ⅰ(コミュニケーション スキル) 社会福祉援助技術 演習Ⅱ(相談援助の プロセス) 社会福祉援助技術 演習Ⅲ(相談援助の 実際) 課題研究演習(卒業 研究)					キャンパス・セミナー	平成22年度から科目充実のため担 当者を追加(23) ※昨年度記載漏れ
専	教授	守本 友美 ( )	平成23年4月	地域福祉論 社会福祉援助技術 論Ⅱ(理論) 社会福祉援助技術 演習Ⅰ(コミュニケーション スキル) 社会福祉援助技術 演習Ⅱ(相談援助の プロセス) 社会福祉援助技術 演習Ⅲ(相談援助の 実際) 課題研究演習(卒業 研究)					現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ	科目充実のため担当者を追加 (23)
専	教授	山中 優 ( )	平成23年4月	総合演習 政治学入門 政治社会学 日本政治論 現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ 課題研究演習(卒業 研究)		教授			キャンパス・セミナー	平成23年4月教授に昇格(23) 学舎統合に伴い「キャンパス・セミナー」 の担当者を変更(23)
兼担	准教授	山中 優 ( )	平成22年4月	政治学入門						
専	准教授	榎本 悠孝 ( )	平成23年4月	現代と福祉 精神保健福祉論Ⅰ (援助理念) 精神保健福祉援助 技術総論 精神保健福祉援助 技術各論Ⅰ(援助活 動) 精神保健福祉論Ⅱ (施策と業務) 精神保健福祉論Ⅲ (制度とサービス) 精神保健福祉援助 技術各論Ⅱ(ケアネ ジメント) 精神保健福祉援助 実習 精神保健福祉援助 演習 課題研究演習(卒業 研究)	兼担	助教	上野 文枝 ( )	平成23年4月	現代と福祉	平成22年4月 一部科目の担当者変更(23)
兼担	准教授	榎本 悠孝 ( )	平成22年4月	現代と福祉						

専	准教授	岩崎 正弥 ( )	平成22年4月	伝統の心と技4 伝統の心と技6 日本建築論 日本工芸論 日本礼法論 文化政策論 現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ 課題研究演習(卒業研究)					岩崎 正彌	キャンパス・セミナー 文章入門 日本人物論  産業社会実習	平成22年4月から、科目充実のため「キャンパス・セミナー」「文章入門」「日本人物論」の担当者を追加(22) ※昨年度の記載漏れを修正 平成22年9月 改名(23) 平成23年4月から、科目充実のため「産業社会実習」の担当者を追加(23)
専	准教授	笠原 正嗣 ( )	平成23年4月	社会学概論 産業社会学 観光社会学 雇用政策 産業社会実習 課題研究演習(卒業研究)					教授	現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ	平成23年4月教授に昇格(23) 平成23年4月から、科目充実のため担当者を追加(23)
兼担	准教授	笠原 正嗣 ( )	平成22年4月	社会学概論							
専	准教授	関根 薫 ( )	平成23年4月	現代社会論 社会情報分析 家族社会学 社会調査実習 現代日本演習Ⅰ 現代日本演習Ⅱ 課題研究演習(卒業研究)						キャンパス・セミナー	学舎統合に伴い「キャンパス・セミナー」の担当者を変更(23)
専	准教授	藤井 恭子 ( )	平成23年4月	教育社会学 社会統計学Ⅰ(基礎統計) 社会統計学Ⅱ(多変量解析) 社会調査実習 社会情報実習 課題研究演習(卒業研究)						現代日本演習Ⅱ	平成23年4月から、科目充実のため担当者を追加(23)
専	准教授	建部久美子 ( )	平成23年4月	社会福祉援助技術論Ⅲ(実践) 障害者福祉論 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ(事前指導) 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ(事後指導) 課題研究演習(卒業研究)						キャンパス・セミナー 現代日本演習Ⅱ  発達と老化	平成23年4月の学舎統合に伴い「キャンパス・セミナー」の担当者を変更、科目充実のため「現代日本演習Ⅱ」の担当者を追加(23) 平成23年4月から、教育職員免許法施行規則改正に伴い「発達と老化」を追加(23)



専	准教授	野尻 京子 ( )	平成23年4月	介護概論 社会福祉援助技術 現場実習 社会福祉援助技術 現場実習指導Ⅰ(事前指導) 社会福祉援助技術 現場実習指導Ⅱ(事後指導) 課題研究演習(卒業研究)					現代日本演習Ⅱ	平成23年4月から、科目充実のため「現代日本演習Ⅱ」の担当者を追加(23)
専	准教授	鵜沼 憲晴 ( )	平成23年4月	高齢者福祉サービス論 社会福祉援助技術 現場実習 社会福祉援助技術 現場実習指導Ⅰ(事前指導) 社会福祉援助技術 現場実習指導Ⅱ(事後指導) 社会福祉援助技術 演習Ⅰ(コミュニケーションスキル) 社会福祉援助技術 演習Ⅱ(相談援助のプロセス) 社会福祉援助技術 演習Ⅲ(相談援助の実際) 課題研究演習(卒業研究)	教授				現代日本演習Ⅱ	平成22年4月 現任の社会福祉学部にて昇格(22)  平成23年4月から、科目充実のため「現代日本演習Ⅱ」の担当者を追加(23)
専	講師	板井 正斉 ( )	平成23年4月	日本民俗論 神道概説 神道福祉論 課題研究演習(卒業研究)	准教授				神道 現代日本演習Ⅱ	平成22年4月 現任の社会福祉学部にて昇格(22)  平成23年4月より、科目充実のため「神道」「現代日本演習Ⅱ」の担当者を追加(23)
兼担	教授	松浦 光修 ( )	平成22年4月	皇学 日本の思想					総合演習 日本人物論	平成22年4月から、科目充実のため「総合演習」「日本人物論」の担当者を追加(22)
兼担	教授	本澤 雅史 ( )	平成22年4月	皇学 ボランティアⅡ						
兼担	教授	松田 典祀 ( )	平成22年4月	皇学	兼担	助教	中條 敦仁 ( )	平成22年4月	皇学	担当予定者のやむを得ない事情により担当者の変更(22)
兼担	教授	市川 千秋 ( )	平成22年4月	皇学						
兼担	教授	大島 信生 ( )	平成22年4月	皇学 伝統の心と技9						
兼担	教授	井後 政晏 ( )	平成22年4月	伊勢学						
兼担	教授	岡田 登 ( )	平成22年4月	伊勢学 伝統の心と技10						
兼担	教授	深津 睦夫 ( )	平成22年4月	伊勢学						
兼担	教授	半田 美永 ( )	平成22年4月	伊勢学						
兼担	教授	上野 秀治 ( )	平成22年4月	伊勢学						
兼担	教授	高倉 一紀 ( )	平成22年4月	伊勢学						
兼担	学長	伴 五十嗣郎 ( )	平成22年4月	伊勢学		教授			神道	平成23年4月 学長交代及び学舎統合に伴い、担当科目変更(23)

兼担	教授	豊住 誠 ( )	平成22年4月	英語資格A 英語資格B 英語資格C 外国語 I インターンシップ ボランティア I							
兼担	教授	山田 やす子 ( )	平成22年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV 言語学							
兼担	教授	白山 芳太郎 ( )	平成22年4月	神道							
兼担	教授	清水 潔 ( )	平成22年4月	日本の歴史		学長			日本の歴史 伊勢学	平成23年4月 学長交代及び学舎 統合に伴い、「伊勢学」の担当を 追加 (23)	
兼担	教授	森 真一 ( )	平成22年4月	社会学入門							
兼担	教授	宮城洋一郎 ( )	平成23年4月	人権論 社会福祉発達史							
兼担	教授	外山 秀一 ( )	平成22年4月	環境地理学 自然地理学 地域情報論							
兼担	教授	増井 節郎 ( )	平成22年4月	武道 I 武道 II 武道 III 武道 IV							
兼担	教授	大串兎紀夫 ( )	平成24年4月	生涯学習概論	兼任	講師	宮崎 冴子 ( )	平成24年4月	生涯学習概論	平成22年3月 大串兎紀夫教授辞任のため 平成22年度より担当者の 変更 (22)	
兼担	教授	中村 哲夫 ( )	平成23年4月	ボランティア I							
兼担	教授	岡野 友彦 ( )	平成23年4月	日本歴史論							
兼担	教授	川添 裕 ( )	平成24年4月	日本芸能論	兼任	講師				平成22年3月 川添裕教授辞任のため、兼任として科目 担当予定 (22)	
兼担	教授	櫻井 治男 ( )	平成25年4月	日本宗教概説							
兼担	教授	上久保達夫 ( )	平成22年4月	地域社会論							
					兼担	教授	池田 久代 ( )	平成22年4月	英語基礎 I 英語基礎 II 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	平成22年4月から、科目充実のため 担当者を追加 (22)	
					兼担	教授	児玉 玲子 ( )	平成22年4月	英語基礎 I 英語基礎 II 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	平成22年4月から、科目充実のため 担当者を追加 (22)	
兼担	准教授	松本 丘 ( )	平成22年4月	皇学							
兼担	准教授	中川 照将 ( )	平成22年4月	皇学 古文 I 古文 II 日本の文学							
兼担	准教授	川村 一代 ( )	平成22年4月	皇学 基礎英語 I 基礎英語 II 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II					英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ  英語資格対策Ⅰ 英語資格対策Ⅱ	平成22年4月から、科目充実のため 担当者を追加 (22)  平成23年4月から、科目のクラス 数再編のため担当科目変更 (23)	
兼担	准教授	齋藤 平 ( )	平成22年4月	伊勢学 ビジネス実践論							
兼担	准教授	張 磊 ( )	平成22年4月	情報処理Ⅰ(基礎) 情報処理Ⅱ(応用)		教授				平成22年4月 現任の社会福祉学部にて 昇格 (22)	

兼担	准教授	ジョン・ダイクス ( )	平成22年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ						
兼担	准教授	渡邊 毅 ( )	平成22年4月	現代と教育 日本人物論					総合演習	平成22年4月から、科目充実のため 担当者を追加(22)
兼担	准教授	杉野 裕子 ( )	平成22年4月	数学						
兼担	准教授	中松 豊 ( )	平成22年4月	生物学 自然科学史						
兼担	准教授	上小倉一志 ( )	平成23年4月	書道Ⅰ 書道Ⅱ						
兼担	准教授	田浦 雅徳 ( )	平成23年4月	インターンシップ		教授				平成22年4月 現任の文学部にて昇格 (22)
					専	教授	笠原 正嗣 ( )	平成23年4月	インターンシップ	平成23年4月 就職委員長担当科目のため、委員 長交代により担当者変更(23)
兼担	講師	多田 寛道 ( )	平成22年4月	皇学						
兼担	講師	松下 道信 ( )	平成22年4月	漢文Ⅰ 漢文Ⅱ 外国語Ⅱ 世界の思想						
兼担	講師	前田 至剛 ( )	平成22年4月	情報処理Ⅰ(基礎) 情報処理Ⅱ(応用) 情報処理Ⅲ(ネットワ ーク) 情報処理Ⅳ(プログラ ミング)					情報処理Ⅰ(基礎) 情報処理Ⅱ(応用)	平成23年4月から、学舎 統合に伴い担当科目変更 (23)
					兼担	教授	張 磊 ( )	平成23年4月	情報処理Ⅲ(ネットワ ーク) 情報処理Ⅳ(プログラ ミング)	
兼担	助教	大平 和典 ( )	平成22年4月	伊勢学						
兼担	助教	上野 文枝 ( )	平成23年4月	児童・家庭福祉論 スクールソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク実 習 スクールソーシャルワーク演 習						
兼任	講師	加藤 十八 ( )	平成22年4月	皇学						
兼任	講師	勝岡 寛次 ( )	平成22年4月	皇学						
兼任	講師	田中 英道 ( )	平成22年4月	皇学						
兼任	講師	渡部 年晴 ( )	平成22年4月	皇学						
兼任	講師	西山嘉代子 ( )	平成22年4月	皇学	兼担	教授	錦 かよ子 ( )	平成22年4月	皇学	平成22年4月 兼担教員新規採用のため 担当者変更(22)
兼任	講師	本間 一誠 ( )	平成22年4月	皇学						
兼任	講師	西根 清美 ( )	平成22年4月	伊勢学						
兼任	講師	西村 尚美 ( )	平成22年4月	伊勢学						
兼任	講師	森下 隆生 ( )	平成22年4月	伊勢学	兼任	講師	鈴木 健一 ( )	平成22年4月	伊勢学	平成22年4月 伊勢市長交代のため 平成22年度より担当者変更(22)
兼任	講師	小野 達哉 ( )	平成22年4月	漢文Ⅰ 漢文Ⅱ						
兼任	講師	永瀬 伊織 ( )	平成22年4月	漢文Ⅰ 漢文Ⅱ						

兼任	講師	宇田 紀之 ( )	平成22年4月	情報処理 I (基礎) 情報処理 II (応用)						
兼任	講師	田畑 忍 ( )	平成22年4月	情報処理 I (基礎) 情報処理 II (応用)						
兼任	講師	伊藤ひさみ ( )	平成22年4月	英語基礎 I 英語基礎 II 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語総合 I 英語総合 II				英語基礎 I 英語基礎 II 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語資格対策 I 英語資格対策 II	科目担当を「英語総合」から「英語資格対策」に変更 (22)	
兼任	講師	折原真希子 ( )	平成22年4月	英語基礎 I 英語基礎 II 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	駒田ゆき子 ( )	平成22年4月	英語基礎 I 英語基礎 II						
兼任	講師	巽 幸政 ( )	平成22年4月	英語基礎 I 英語基礎 II						
兼任	講師	西尾 吉成 ( )	平成22年4月	英語基礎 I 英語基礎 II 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	山川 茂俊 ( )	平成22年4月	英語基礎 I 英語基礎 II 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	楠田 英子 ( )	平成22年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語資格対策 I 英語資格対策 II				英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II  英語総合 I 英語総合 II	英語関連共通科目の担当科目配分を変更 (22)  平成23年4月から、科目のクラス数再編のため担当科目追加 (23)	
兼任	講師	橋爪 仙彦 ( )	平成22年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	マルチンス・オコン・ エフィオン ( )	平成22年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英会話 I 英会話 II	兼任	講師	サミュエル・アネスリー ( )	平成22年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英会話 I 英会話 II	平成22年3月 マルチンス・オコン・エフィオン講師担当辞退のため平成22年度より担当者変更 (22)
兼任	講師	青木 幸美 ( )	平成22年4月	フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV						
兼任	講師	伊達エリナ* 幸江 ( )	平成22年4月	ポルトガル語 I ポルトガル語 II ポルトガル語 III ポルトガル語 IV						
兼任	講師	高 潤生 ( )	平成22年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV						
兼任	講師	古坂 紘一 ( )	平成22年4月	哲学	兼任	講師	遠山 敦 ( )	平成22年4月	哲学	平成22年3月 古坂紘一講師辞任のため平成22年度より担当者変更 (22)
兼任	講師	濱千代早由美 ( )	平成22年4月	日本の民俗 地域文化論						
兼任	講師	奥田 泰広 ( )	平成22年4月	世界の歴史 日本外交論 国際政治論	兼任	講師	大野 直樹 ( )	平成23年4月	日本外交論 国際政治論  世界の歴史	平成23年4月 担当講師の都合により一部担当者変更 (23)
兼任	講師	島 義博 ( )	平成22年4月	経済学入門 統計学入門 起業論						
兼任	講師	原田 華 ( )	平成22年4月	心理学入門	兼任	講師	斎藤 文 ( )	平成22年4月	心理学入門	平成22年3月 原田華講師担当辞退のため担当者変更 (22)
兼任	講師	樋廻 博重 ( )	平成22年4月	現代と健康						
兼任	講師	田村 圭司 ( )	平成22年4月	現代の課題 日本マスコミ論						



兼任	講師	大島 謙 ( )	平成23年4月	人生と仕事	兼任	教授	須田 寛 ( )	平成23年4月	人生と仕事 現代の課題 産業観光論	平成22年3月 「人生と仕事」の大島謙講師が担当辞退のため担当予定者を変更 「現代の課題」は科目充実のため平成22年度より担当者を追加 -(22)- 平成23年4月から、教育課程充実のため「産業観光論」を追加 (23)	
					兼任	教授	田浦 雅徳 ( )	平成23年4月	人生と仕事	平成23年4月から「人生と仕事」の科目内容変更のため担当を変更 (23)	
					兼任	教授	外山 秀一 ( )	平成23年4月	人生と仕事		
					兼任	講師	河合 潔 ( )	平成23年4月	現代の課題		
					兼任	講師	天白 修一 ( )	平成23年4月	現代の課題		
					兼任	講師	藤井 淳夫 ( )	平成23年4月	現代の課題		
					兼任	講師	栃木 新一 ( )	平成23年4月	現代の課題		平成23年4月から「現代の課題」の1クラスを三重県警が担当するため担当を変更 (23)
					兼任	講師	宮崎 由司 ( )	平成23年4月	現代の課題		
					兼任	講師	中根 英二 ( )	平成23年4月	現代の課題		
兼任	講師	後藤 善信 ( )	平成23年4月	現代の課題							
兼任	講師	山下 数奈 ( )	平成23年4月	ビジネス実践論							
兼任	講師	岩佐 政徳 ( )	平成23年4月	ビジネス実践論							
兼任	講師	山出公一郎 ( )	平成23年4月	ビジネス実践論							
兼任	講師	井上 雅平 ( )	平成23年4月	ビジネス実践論							
兼任	講師	岡田美千絵 ( )	平成23年4月	ビジネス実践論							
兼任	講師	野間 紀子 ( )	平成23年4月	ビジネス実践論							
兼任	講師	岩崎 利彦 ( )	平成23年4月	社会保障論 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画	兼任	講師	長友 薫輝 ( )	平成23年4月	社会保障論	平成23年3月 岩崎利彦講師が担当辞退のため、平成23年度より担当者変更 (23) （「福祉行財政と福祉計画」は平成25年度開講科目のため、担当者を検討中）	
					兼任	助教	上野 文枝 ( )	平成23年4月	公的扶助論		
							後任未定		福祉行財政と福祉計画		
兼任	講師	栗原 剛 ( )	平成23年4月	日本倫理思想史							
兼任	講師	笠谷和比古 ( )	平成24年4月	武士道論							
兼任	講師	池田 曜子 ( )	平成22年4月	心理学							
兼任	講師	小谷 裕実 ( )	平成23年4月	医学概論	専	准教授	野尻 京子 ( )	平成23年4月	医学概論	平成23年3月 小谷裕実講師が担当辞退のため、平成23年度より担当者変更 (23)	
兼任	講師	崎山 忍 ( )	平成23年4月	精神医学 精神保健学	兼任	講師	山崎 正 ( )	平成23年4月	精神医学 精神保健学	平成23年3月 崎山忍講師が担当辞退のため、平成23年度より担当者変更 (23)	
兼任	講師	植田 寿之 ( )	平成22年4月	社会福祉援助技術 論I(専門職制度)							
兼任	講師	成田すみれ ( )	平成23年4月	リハビリテーション論							

兼任	講師	片岡千都子 ( )	平成24年4月	医療福祉論								
兼任	講師	山形 力生 ( )	平成24年4月	精神科リハビリテーション論								
兼任	講師	磯前 秀二 ( )	平成23年4月	日本経済論 経済政策論 農業政策論								
兼任	講師	鈴木 英敬 ( )	平成24年4月	公共政策論 地方財政論								
兼任	講師	武田 秀一 ( )	平成24年4月	コミュニティビジネス論								
兼任	講師	七野 敏光 ( )	平成24年4月	権利擁護と成年後見制度	専	教授	鵜沼 憲晴 ( )	平成24年4月	権利擁護と成年後見制度	平成23年4月の学舎統合に伴い、専任に担当者を変更(23)		
兼任	講師	小笠原清忠 ( )	平成23年4月	文化継承実習Ⅰ 文化継承実習Ⅱ 文化継承実習Ⅲ 文化継承実習Ⅳ 文化継承実習Ⅴ 文化継承実習Ⅵ								
					兼任	教授	植芝 守央 ( )	平成22年4月	武道Ⅰ 武道Ⅱ 文化継承実習Ⅰ 文化継承実習Ⅱ 文化継承実習Ⅲ 文化継承実習Ⅳ 文化継承実習Ⅴ 文化継承実習Ⅵ	平成22年4月より、科目充実のため担当者追加(23) ※昨年度記載漏れ		
					兼任	講師	小谷 佑一 ( )	平成23年4月	武道Ⅰ 武道Ⅱ 文化継承実習Ⅰ 文化継承実習Ⅱ 文化継承実習Ⅲ 文化継承実習Ⅳ 文化継承実習Ⅴ 文化継承実習Ⅵ	平成23年4月より、科目充実のため担当者追加(23)		
					兼任	講師	大辻 隆弘 ( )	平成23年4月	文化継承実習Ⅰ 文化継承実習Ⅱ 文化継承実習Ⅲ 文化継承実習Ⅳ 文化継承実習Ⅴ 文化継承実習Ⅵ	平成23年4月より、科目充実のため担当者追加(23)		

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**届出時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	9	1	0	17	0	10	7	0	0	17	0	
(5)	(1)	(0)	(0)	(6)	(0)	[ 3 ]	[ △2 ]	[ △1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<現代日本社会学部 現代日本社会学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	1～6での事項以外に、特に変更なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

授業改善・教員の資質向上に関しては、本学に付置されている教育開発センターを中心にして取り組む。本学の教育開発センターは、学長を中心とするセンター運営委員会において教育方法とその検証についての基本方針を策定し、それを受けたセンター長がセンター委員で構成されたセンター会議において具体化し、実施に移すという体制を整えている。さらに、通常の授業体制で補えない学習支援については、教育開発センター内に置かれた学習支援室において対応する。

教育開発センターは、入学準備プログラム・カリキュラム開発・補習授業などの基本方針を策定し（plan）、それに基づいて各学部・各学科において授業を具体化する（do）、その検証は授業評価アンケートやプレースメントテスト（国語・英語など基礎学力向上の検証）を活用して検証する（check）。その検証結果に対してセンター会議において改善方法を策定し、センター運営会議の承認を得て各学部・各学科に次年度に向けての改善計画（action）を指示する。（なお、平成21年度までは、「全学FD協議会」という組織が設置されていたが、平成22年度より発展的に解消して、全学的な課題については教育開発センターに活動を集中させることとなった。）

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### 【教育開発センター会議】

平成22年度実績：年間7回開催。委員10名のうち、5名が教員。

###### 【教育開発センター運営委員会】

平成22年度実績：年間3回開催。委員11名のうち、9名が教員。

##### c 委員会の審議事項等

###### 【教育開発センター運営委員会】

- ①教育開発センターの事業に関する事項
- ②教育開発センターの人事に関する事項
- ③その他センターの運営に関して必要な事項

###### 【教育開発センター会議】

- ①本学の教育力を向上させるための教育システムの企画・開発
- ②教育内容・方法を改善するための企画と教職員の研修支援
- ③教育効果の評価方法の研究・開発とその実施
- ④教育活動の支援体制の整備
- ⑤共通教育の企画・開発及びその運営
- ⑥その他目的を達成するために必要な事項

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ 授業方法についての研究会
- ・ FD講演会
- ・ ICT活用教育講習会
- ・ 学外のFD関連フォーラム等への教職員派遣

- ・ 授業評価アンケート
- ・ 卒業時アンケート
- ・ 入学者アンケート
- ・ 新任教員のための研修会 等

#### b 実施方法

- ・ 授業方法についての研究会  
「文章入門」担当者による相互の教材・授業法の紹介・検討会を実施。
- ・ FD講演会  
FD活動が進んでいる大学等より講師を招き、教職員を対象に実施。
- ・ ICT活用教育講習会  
平成21年度から導入したMoodle（授業支援システム）の使用法の講習会を実施。
- ・ 学外のFD関連フォーラム等への教職員派遣  
特定の人員に偏らないように配慮して、多数の教職員を種々の講演会等に派遣。
- ・ 授業評価アンケート  
各学期末に、受講者5名以上の授業において実施。アンケート結果の集計表に各科目担当教員のコメントを添付し、報告書として学内Web及び図書館にて公開。
- ・ 卒業時アンケート  
学位授与式終了後、学生生活及び教学に関するアンケートを実施。
- ・ 入学者アンケート  
入学者に対し、本学での学びへの期待等に対しアンケートを実施。
- ・ 初任者研修会  
年度の初めに、新任教員に対して、本学の建学の精神への理解や、教育方針の共有のために実施。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業方法についての研究会  
担当者6名の参加により5回開催。
- ・ FD講演会（平成22年度実績）  
2回開催。出席教職員数：延べ55名。
- ・ ICT活用教育講習会  
5回開催。出席教員数：延べ50名。
- ・ 学外のFD関連フォーラム等への教職員派遣  
9種類の講演会等に参加。参加教職員数：延べ23名。
- ・ 授業評価アンケート  
各学期末に実施。
- ・ 卒業時アンケート  
卒業時に実施。
- ・ 入学者アンケート  
入学時に実施。
- ・ 初任者研修会（平成22年度実績）  
年度の初めに、新任教員9名に対して実施。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートの集計結果において、学生の満足度の低い授業の担当者に対して、教務委員長による個別面談及び指導を行うとともに、学生からの意見に対するフィードバックを各教員において実施している。
- ・ FD講演会「大学図書館の学習・教育支援機能とFDについて」を承けて、本学の附属図書館のあり方、特にラーニング commons の設置について検討が始まった。
- ・ FD講演会「eポートフォリオとは何か」を承けて、eポートフォリオ構築に向けての議論を開始した。
- ・ 卒業時アンケートの集計結果は、教育開発センターにおいて集計・分析をおこない、教授会に対して結果の公表及び改善のための検討を依頼した。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は、「日本の文化」「現代の社会」「生活と福祉」の三分野についての教育を核として、現代日本社会の諸問題に主体的、創造的に対応し、各領域においてリーダーとして貢献できる職業人養成を目的としている。

本年度で開設2年目を迎えたが、入学前教育での学習発表会や、入学後の新入生宿泊研修による学生の学習意欲喚起とともに、「現代日本塾」などの講演会及び2年次生における立志式の開催により、学生が本学部で学ぶ意義を理解し、各自の目的意識を確立することに十分な手ごたえを感じており、本学部所期の目的達成のための第2段階に、確実に進むことができたと考えている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表時期

- ・平成22年4月12日 公表

##### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を大学公式ホームページ上に公開（平成22年4月12日）

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21（2009）年度に、財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受け、審査の結果、平成22（2010）年3月12日付けで、同協会の定める大学基準に「適合」しているとの認定を受けた。
- ・平成28年度に評価機関（財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( H 2 3 年 1 0 月 末日まで )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
未 定 (http://www. )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。